

平成20年度主要施策等一覧

平成20年2月

(◎=新規 ☆=拡大)

1. 教育文化に係る分野

- ☆① 特別支援教育業務経費 5, 142千円
LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などの障がいのある児童を支援するため、小学校5校をモデル校とし、各校に1人ずつ特別支援教育支援員を配置する。
・特別支援教育支援員の職務：①日常生活介助 ②学習支援 ③学習活動、教室間移動等における介助 ④児童生徒の健康・安全確保
- ◎② オタモイ共同調理場調理等業務委託料 27, 600千円
学校給食オタモイ共同調理場における調理業務等を民間事業者に委託する。
・平成20年8月実施予定
- ③ 校舎等の整備 90, 700千円
・◎若竹小（受電設備改修事業費） 6, 300千円
・花園小、天神小、◎朝里小（屋内運動場屋根改修事業費） 20, 000千円
・◎最上小（校舎暖房設備等改修事業費） 15, 000千円
・☆西陵中（擁壁改修事業費） 49, 400千円
- ④ 重要文化財旧手宮鉄道施設修復事業費 149, 550千円
重要文化財旧手宮鉄道施設（機関車庫3号）の保存修理工事を平成18年度から実施（平成18～21年度継続事業）。平成21年度完工予定
- ☆⑤ 放課後児童健全育成事業費 80, 000千円
放課後児童クラブの運営
○平成20年度新規事業：北海道小樽豊学校に放課後児童クラブを開設
- ☆⑥ 幼稚園就園奨励費補助金 103, 000千円
保護者の所得状況に応じ、保育料、入園料を減免する幼稚園に対し補助を行うことにより、保護者負担の軽減を図る。
・変更点：①補助単価の引き上げ ②第2子以降の優遇措置の拡充

- ⑦ **特別展開催経費（文学館）** 250千円
 市立小樽文学館開館30周年記念事業：没後100年「榎本武揚と歴史小説」
 ・開催期間：平成20年6月14日～7月6日
- ⑧ **特別展開催経費（美術館）** 1,500千円
 中村善策記念ホール開設20周年記念特別展：「中村善策の全貌展」
 ・開催期間：平成20年5月24日～7月21日
- ◎⑨ **収蔵車両等補修事業費（総合博物館）** 2,000千円
 総合博物館に展示している鉄道車両等について、腐食、破損、塗装の剥離が進行していることから、再塗装及び破損部分の補填など補修を行う。
 ・平成20年度補修予定車両：特急「北海」、操重車「ソ30」、食堂車「キシ80」、「マニ（現金輸送車）」

2. 市民福祉に係る分野

- ◎① **住民票等電子公印対応業務委託料** 1,350千円
 住民票の写し等の交付に当たり、偽造防止用紙に切り替えるとともに、認証等を電子化するための経費
- ◎② **障害福祉計画、高齢者保健福祉計画等策定事業費** 1,034千円
 ・障害福祉計画策定事業費 130千円
 平成18年度策定の第1期計画に続く第2期計画の策定
 計画期間：平成21年度～23年度
 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費 904千円
 現計画（平成18～20年度）を見直し、次期計画の策定を行う
 アンケート調査経費、策定委員会経費等
 計画期間：平成21年度～23年度
- ◎③ **私立保育所建設費補助金** 74,310千円
 平成20年4月に民間移譲する「真栄保育所」を運営する法人が新たに建設する新保育所に係る補助金
- ◎④ **後期高齢者医療制度実施関係経費** 1,965,240千円
 ・医療費の公費負担部分については一般会計から広域連合に支出 1,582,343千円
 ・保険料、保健事業分、共通経費の広域連合への負担金、その他事務経費は特別会計を設置 382,897千円

⑤ 国民健康保険料の賦課限度額の変更について

- ・新たに設けられた後期高齢者支援金等賦課限度額を12万円とする。
- ・基礎賦課限度額を53万円から47万円に変更する(当分の間44万円とする)。
現 行：基礎賦課限度額53万円
改正後：基礎賦課限度額44万円＋後期高齢者支援金等賦課限度額12万円＝56万円
※介護納付金賦課限度額は9万円(変更なし)

☆⑥ 税制改正の影響による介護保険料軽減策

- ・介護保険料の激変緩和措置の継続 (影響額：約41,000千円)
介護保険料(平成18～20年度)の上昇や高齢者非課税限度額廃止等の税制改正の影響により、保険料の段階が第4・5段階になった方について、保険料が急激に上昇しないよう、平成18・19年度に限り保険料を段階的に引き上げる激変緩和措置を行ってきた。
平成20年度については、段階的な引き上げを行わず、平成19年度と同額の保険料設定を行うかたちで激変緩和措置を継続する。
- ・介護保険料の独自減免措置の対象者を拡大 (影響額：約2,400千円)
現在、世帯員全員の市民税非課税を前提に第1段階(生活保護を除く)及び第3段階の方を対象に行っている保険料の独自減免について、非課税要件を撤廃し、その対象者を第4段階以上の課税世帯にも拡大する。

◎⑦ 地域介護・福祉空間整備等交付金 40,000千円

小樽北勉会が特別養護老人ホーム望海荘のサテライトとして建設を予定している地域密着型介護老人福祉施設(若松2丁目)に対する交付金

☆⑧ 各種予防接種費 95,000千円

全国的に問題化した大学生など成人における麻しん(はしか)の流行を防止するため、平成20年度から5年間、中学1年生及び高校3年生について公費負担による予防接種を実施する。
・従前：1歳児及び6歳児を対象に実施

☆⑨ 妊婦・乳幼児健康診査費 24,000千円

妊娠に伴う経済的負担の軽減を図るため、妊娠期間中の健康診査を2回から5回に拡大する。

☆⑩ 特定健康診査等関係経費

- ・国民健康保険の特定健康診査・特定保健指導(40歳～74歳)
医療保険制度改正に伴い、被保険者の健康診査が平成20年度から医療保険者による生活習慣病の予防を重視した特定健康診査へ移行する。また、当該疾病予防の実効性を確保するため検診後の保健指導を重点的に行う。
国民健康保険被保険者分 47,400千円
- ・後期高齢者医療制度の健康診査・保健指導(75歳以上)
75歳以上の方の健康診査は、生活習慣病の早期発見と予防を図るため、北海道後期高齢

者医療広域連合が市町村に委託して行う。保健指導については、従前と同様に保健所の健康相談で行う。

後期高齢者医療制度被保険者分 16,745千円

・生活機能評価（生活機能の低下を早期に発見するための問診・検査）

要介護認定者を除く全ての高齢者を対象に生活機能をチェックし、生活機能に低下がみられると判断された方に対し検査を実施する。

介護保険第1号被保険者分 29,217千円

※ 小樽市保健所では、受診機関として国保加入者等の特定健康診査、生活機能評価、特定保健指導を実施する。

特定健康診査・生活機能評価・特定保健指導 7,880千円

3. 生活環境に係る分野

① 廃棄物最終処分場第2期拡張整備事業費

556,616千円

（一般会計 255,184千円、特別会計 301,432千円）

平成12年7月に供用開始した廃棄物最終処分場第1期埋立地（V=811千 m^3 ）が近年中に許容量に達する見込みであることから、第2期拡張工事を実施。

- ・平成19年度から平成21年度までの継続費事業の2年度目
- ・面積=約29千 m^2 、容量=約130千 m^3

② 集団資源回収事業費

23,800千円

町内会等の団体が実施する集団資源物回収活動に対し、回収団体及び回収業者へ奨励金及び助成金を交付する。

※奨励金及び助成金のキロ単価を減額

- ・回収団体奨励金：平成20年7月実施分から5円/kg→4円/kgへ減額

（影響額：2,000千円）

- ・回収業者助成金：平成20年4月実施分から2.6円/kg→1.6円/kgへ減額

（影響額：3,200千円）

◎③ 消防署朝里出張所建設事業費

13,500千円

老朽化の著しい朝里出張所（昭和41年建築）の建て替え（朝里共同住宅跡地）

○建物概要等

- ・敷地面積：650 m^2 程度
- ・建物規模：2階建て 延べ約585 m^2 程度
- ・配置車両：タンク車、ポンプ車、救急自動車
- ・平成20年度：地質調査、設計委託
- ・平成21年度：建設工事

- ◎④ **はしご付消防自動車整備事業費** 14,000千円
平成3年購入のはしご車（15メートル級）の分解整備経費
- ◎⑤ **バリアフリー等住宅改造資金貸付金** 15,071千円
高齢者や障がい者をはじめとする市民が、安全で快適な生活ができるように住宅を改造する場合の資金を金融機関と協調融資（無利子）する。
※融資限度額を3,000千円から2,000千円に変更する。
- ◎⑥ **市営住宅改善事業費** 19,067千円
「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅の計画的な再生を図る。
・火災警報機整備、ガス配管設備改修、地上デジタル調査 ほか
- ◎⑦ **公営住宅建替事業費** 22,737千円
オタモイ地区の老朽化した市営住宅を建て替え、新たに3号棟・4号棟を建設するため、基本設計等を実施する。
・基本設計：オタモイ3号棟・4号棟共通
・実施設計：オタモイ3号棟

4. 産業振興に係る分野

- ◎① **ものづくり市場開拓支援事業費** 1,600千円
（仮称）「小樽ものづくり産業」冊子パンフレットの作成や「北海道 技術・ビジネス交流会」への出展を通じて、市内のものづくり企業の技術・製品を周知するとともに、新たなビジネスマッチングの機会を設け、市内企業の市場開拓を支援する。
- ◎② **地域経済交流促進事業費補助金** 500千円
本市と隣接する札幌市手稲区との地域経済交流を促進する一環として、本市で生産される優れた農産品、水産加工品、その他の地場産品のPRと観光情報を発信するため、手稲区内において展示即売会と観光PR展を開催し、地場産業の振興を図る。
- ◎③ **おたる高島水産まつり実行委員会補助金** 800千円
小樽、後志で生産される優れた水産加工品のほか、農産品やその他の地場産品をPRするため展示即売会を開催し、「地産地消」の運動を促進するとともに、地場産業の振興を図る。

④ 東アジア・マーケットリサーチ事業実行委員会補助金

900千円

産・学・官が連携して地場産業の振興を図るため、経済成長が著しい東アジア圏をターゲットとした地場産品の販路拡大及び小樽観光PRを行う同実行委員会に補助する。

◎⑤ 観光客動態調査事業費（観光振興費のうち）

672千円

おおむね4年に一度観光客の動態を調査し、今後の観光施策の基礎資料として活用する。

前回：平成15・16年度実施

☆⑥ 使用料の減免拡大（公設青果卸売市場）

市場機能を維持するため、経営不振の続く樽一小樽中央青果(株)に対し、経営健全化に向けた支援として、市場使用料及び施設使用料の10分の9を減免する（現行は2分の1を減免）。

◎⑦ 日本海北部ニシン栽培漁業事業費補助金

200千円

日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会が漁獲増を目的にニシン種苗生産・放流を実施するが、その経費のうち、小樽市漁業協同組合が負担する金額の一部に対し補助を行う。

5. 都市基盤に係る分野

① 小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発事業費補助金

524,500千円

JR小樽駅前に、商業・住宅・宿泊機能を併せ持った複合ビルの建設が進められて（平成21年5月完成予定）いるが、その実施主体（小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発組合）に対し補助を行う。

○施設概要

- ・ホテル棟：地下1階 地上10階（234室）
- ・住宅棟：地下1階 地上17階（117戸）
- ・店舗：地下1階 地上1階
- ・駐車場：機械式（164台）、自走式（17台）

② 小樽公園再整備事業費

27,000千円

平成17年度に策定した「小樽公園再整備基本計画」に基づく小樽公園の再整備のうち、こどもの国ゾーンの整備を行う。

- ・平成18年度：地形測量調査、遊具実施設計、こどもの国施設撤去工事
- ・平成19年度：大型遊具「空の回廊」及び「大地の遊びの回廊」、迷路築造
- ・平成20年度：幼児用遊具、多目的広場、野外学級施設ほか

- ◎③ **客船誘致促進事業費負担金** 300千円
積極的な客船誘致や（仮称）クルーズ客船歓迎クラブを設立するなど、歓迎体制を整備し、魅力ある寄港地づくりを進めていく。
- ④ **小樽運河浄化対策事業費** 50,000千円
港湾公害防止対策事業（南運河のしゅんせつ）
・平成19年度：しゅんせつ工：V=980m³、調査・設計一式
・平成20年度：しゅんせつ工：V=1,490m³
- ⑤ **国直轄工事費負担金（北防波堤改良事業費）** 45,000千円
・平成18年度まで：調査・設計、漁業補償、ブロック製作、被覆工
・平成19年度：被覆工（L=130m／港内）、測量試験ほか
・平成20年度：根固工（L=120m／港外）
※国直轄事業 平成20年度全体事業費300,000千円
- ◎⑥ **合同庁舎周辺整備事業費** 20,000千円
平成20年3月から着工される合同庁舎建替えに併せ、円滑な車両交通や安全な歩行者動線を確保するため、臨港道路の整備を行う。
・平成20年度：測量試験費、道路縦断排水敷設工事
- ⑦ **建設機械整備費** 28,550千円
除雪用グレーダーの更新（1台）
- ⑧ **中央下水終末処理場の更新** 1,245,000千円
・汚泥処理棟 機械・電気設備（汚泥焼却設備、汚泥脱水設備）、建築・建築設備（汚泥焼却設備上屋増築等）、実施設計委託（汚泥脱水機設備） 874,000千円
・水処理施設 機械・電気設備（反応タンク設備） 330,000千円
・水処理施設・放流ポンプ棟 機械設備（用水設備） 30,000千円
・本館沈砂池棟 機械設備（用水設備）、場内整備 11,000千円
平成21年10月新焼却炉の運転開始予定

6.その他

☆① 移住促進事業経費 2,240千円

団塊世代などを対象に小樽市への移住を促進するため、専用ホームページによる情報提供や相談窓口で問い合わせに回答するほか、首都圏などで開催されるイベントに移住相談コーナーを設置するなど、PR活動を行う。

また、「長期滞在」と「二地域居住」というニーズを視野に市内事業者と連携し、滞在施設や体験メニューの情報発信などを行い、移住・交流受入体制の構築を図る。

- ・平成17年度（7月～3月）：相談59件、移住決定5件
- ・平成18年度（4月～3月）：相談47件、移住決定6件
- ・平成19年度（4月～12月）：相談15件、移住決定4件

☆② 総合計画策定経費 4,000千円

平成20年度中に策定する新しい総合計画の計画書の作成及び基本計画策定に係る審議会開催等に係る経費

- ・平成20年度：基本構想、基本計画の策定及び計画書の作成

◎③ 北海道洞爺湖サミット関連事業 2,380千円

- ・北海道洞爺湖サミット記念植樹祭 in 小樽 補助金

サミット開催を記念して、記念講演会及び記念植樹祭に対し補助金を交付する。

- ・総事業費：6,000千円（うち小樽市補助金600千円）
- ・記念講演会：平成20年6月28日 小樽グランドホテル
（講師）横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏
- ・記念植樹祭：平成20年6月29日 朝里ダム湖畔園地内 5,000本を植樹予定
- ・北海道洞爺湖サミット消防・救急体制整備事業費 1,780千円
平成20年7月7～9日に洞爺湖町で開催されるサミット会議の円滑な運営のため、各国の要人等が集まる関係施設の消防・救急警戒活動をはじめ、関係施設に対する予防査察等を実施する現地統括警戒本部等に車両及び人員を派遣する。
 - ・派遣隊：指揮隊1隊（車両1台、隊員8名）、救急隊1隊（車両1台、隊員6名）
予防査察員（車両1台、査察員2名）

◎④ 地上デジタル調査経費 10,760千円

（一般会計：2,953千円、特別会計：7,807千円）

平成23年7月に地上アナログ放送が終了することに伴い、市が所有する施設等の影響による電波障害エリア及び共聴施設の改修内容を確定するための調査経費

- ・市民センター、勤労女性センター、消防庁舎、消防署、消防署長橋出張所、稲穂小学校、天神小学校、朝里小学校、市営住宅